

平成27年度一般会計決算討論

反対討論

中西 顕治

直面している大きな課題である少子化、そして高齢社会を迎えて、その改善のためにこそ重点が置かれるべきであるが、27年度事業においては過大な支出を無批判に継続したうえ、財政収支見通しが悪化する中、相応の規模の活性化策が示されていない。

少子・高齢化にすでに突入している本町で住民に密接な課題には薄く、巨額の新学校建設、バイパス工事、火葬場建設などにウエートが大きく割かれ、高齢化への対応が急がれるなか、要望される介護福祉施策などへの対応はなおざりであり、住民に評価される決算であるとは言えない。よって本決算の認定に反対する。

反対討論

中植 昭彦

今般のダイオキシン処理問題では、農業振興、観光関係に大きな被害が発生している。住民からも、被害の訴えがあったにも関わらず、町長は一施設の聞き取りだけを行い、被害は発生していないとの判断をした。様々な事業所がある中で一施設だけの聞き取りを行うだけでは、実態の把握にはならないと考える。また、被害は金銭的被害だけではない。本町の信用失墜による影響も考えたとき、まずは住民に対する説明を行い、住民の声を聞くことが必要だと考える。現在においても誠意ある対応を行わないことに対し、関連経費が含まれる本決算認定に反対する。

反対討論

大西 則宏

今回の決算認定に関する山口町長の説明は、余りにもごまかしが多く、住民に対して秘密裏に予算が執行された感が否めない。特に豊能郡環境施設組合負担金については、一切の説明がされず「住民に対する町長の最大の義務である説明責任」が全く果たされていない。山口町長による予算執行の適法性に、大きな疑念を持つところであり、平成27年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定は承認できない。

反対討論

大平喜代江

27年度当初予算、民生費の児童福祉総務費において、決定された当初予算額を3割も減額、さらに事業の概要・目的を当初予算時とは、全く異なるものに変えている。当初の事業と異なる趣旨の事業が付け加えられ、減じられた決算額の補いにされていることは不可解極まりない。本来の事業目的とは異なる事業を加え、二本立てにしていることや、本来の事業を減額した理由の説明を求めても明確な説明をいただけない。予算は必要なものだからつけるのであり、予算執行に際し適当に加減して、どうにでもなるという姿勢が見え、到底認められるものではない。一部であっても弱いところから削る本決算認定に反対する。

平成28年能勢町議会7月会議報告

7月会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

議会議案第5号 ダイオキシン問題につき町住民への説明を尽くすことを求める決議について

賛 否 全員賛成

原案可決

要 旨

能勢町議会は、能勢町長に対し、これらダイオキシン汚染物をめぐる一連の諸問題について、神戸市内の産業廃棄物最終処分場からの搬入先を指定する期限とされている本月31日までに説明会を開催し、加えて町ホームページや町広報において詳細な説明を掲載するなど、町住民に対して説明を尽くすことを強く求めるものである。